

## 【令和3年度 政策・調整会議】

件名：JR南武線連続立体交差事業の検討結果及び今後の取組方針について

日時：令和3年11月16日（火）14：16～14：19

場所：第3庁舎18階 大会議室

### ●付議理由

これまでの検討により、JR南武線連続立体交差事業の必要性や別線高架工法による事業費の縮減や事業期間の短縮などの効果等が確認できたことから、今後の取組方針をとりまとめ、都市交通の円滑化や地域の一体化に資する取組を計画的に推進するため。

### ●付議概要

#### 1 現状と課題

これまでに踏切の除却に向け連続立体交差事業の計画を進めてきたが、長期にわたり財源や人的負担が大きいことなどから、令和2年度に予定していた都市計画決定を見送り、今後の社会変容等を見据えた事業の効果や事業費の縮減等の検討を行うことが必要となった。

#### 2 検討の結果

既存の事業計画にとらわれず検討を行い、これまでの仮線高架工法を見直し、別線高架工法を採用することで、鹿島田駅のペDESTリアンデッキの一部を撤去する必要がある等の課題があるものの、事業費の縮減のほか事業効果の早期発現など改革・改善効果が確認できた。

#### 3 検討結果を踏まえた今後の取組方針

- ・ 今後は、別線高架工法での事業化に向け、必要な都市計画等の手続きを進める。
- ・ 平間駅前踏切等の暫定対策として、踏切遮断時間の短縮を図る対策をJR東日本に要請していくとともに、今後、連続立体交差事業の進捗を踏まえて、各対策の実施の可否を検討する。

### ●主な意見

- ・ 工法の変更について、地元への説明を丁寧に行うこと。

### ●結論

案のとおり了承。